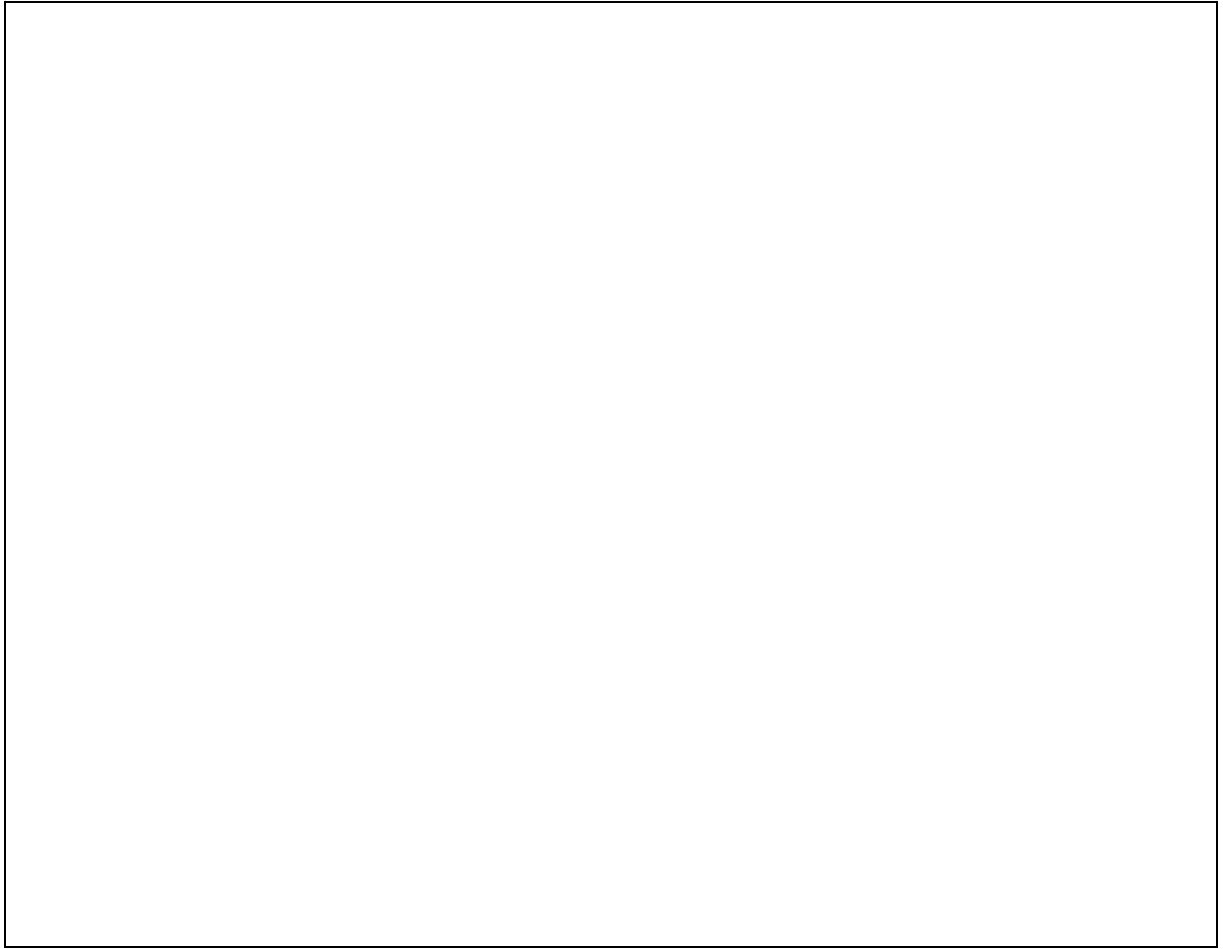
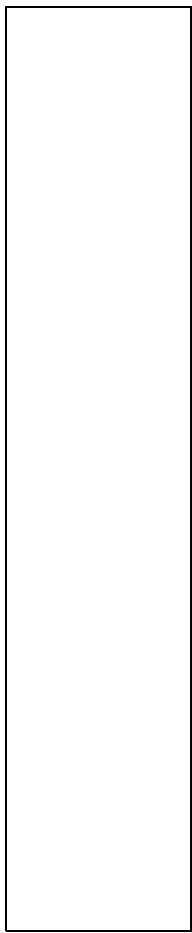


□ 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

小林康夫(こばやし・やすお)「学ぶことの根拠」の一節



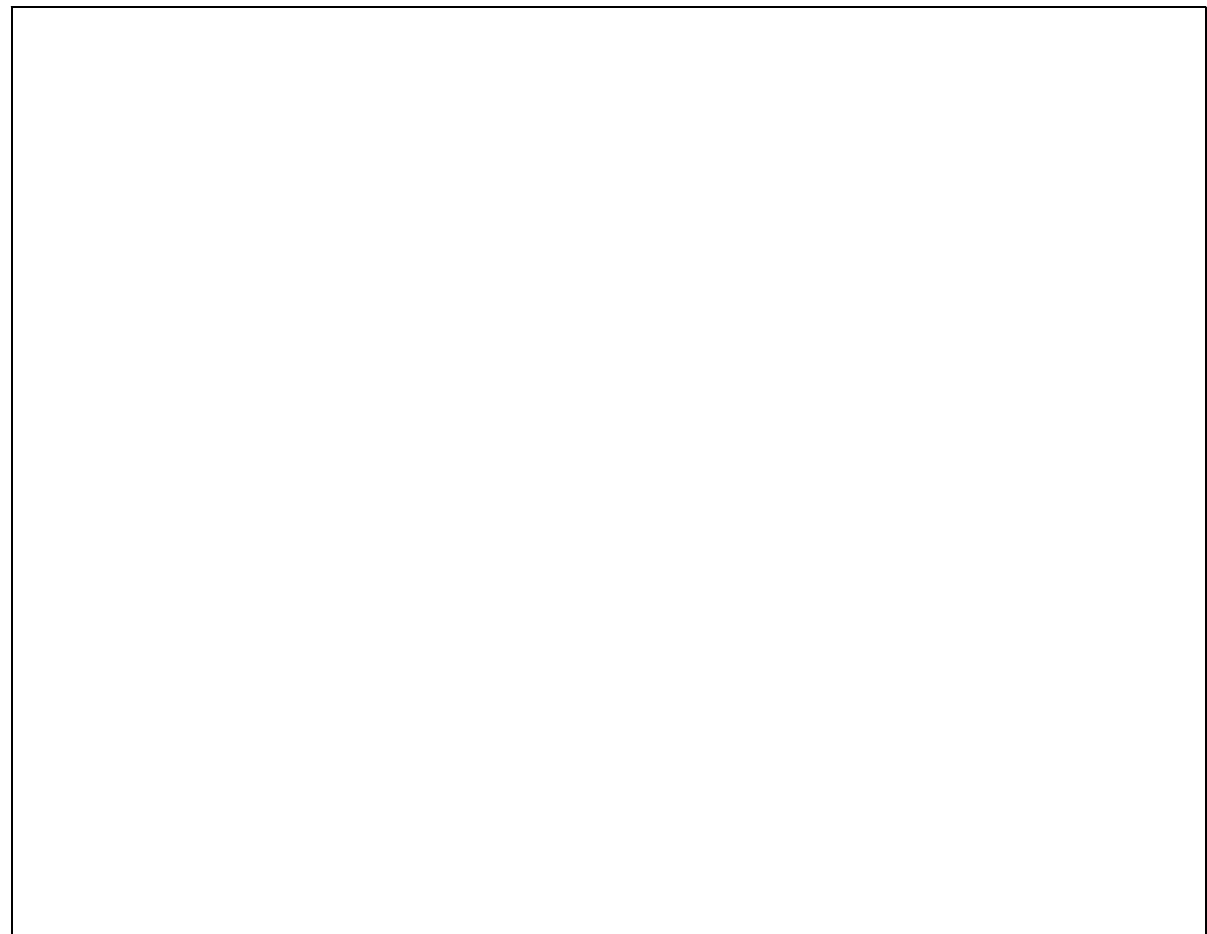
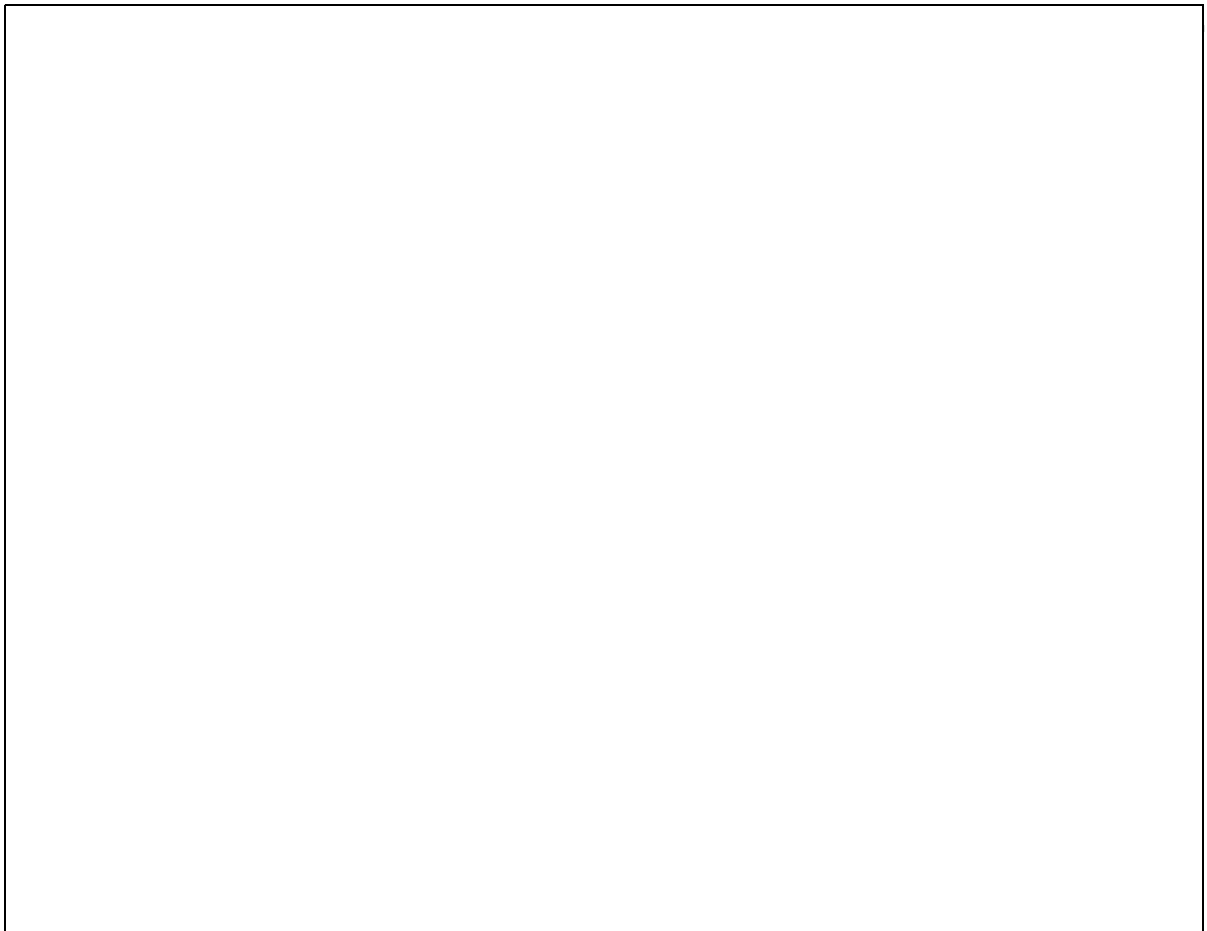


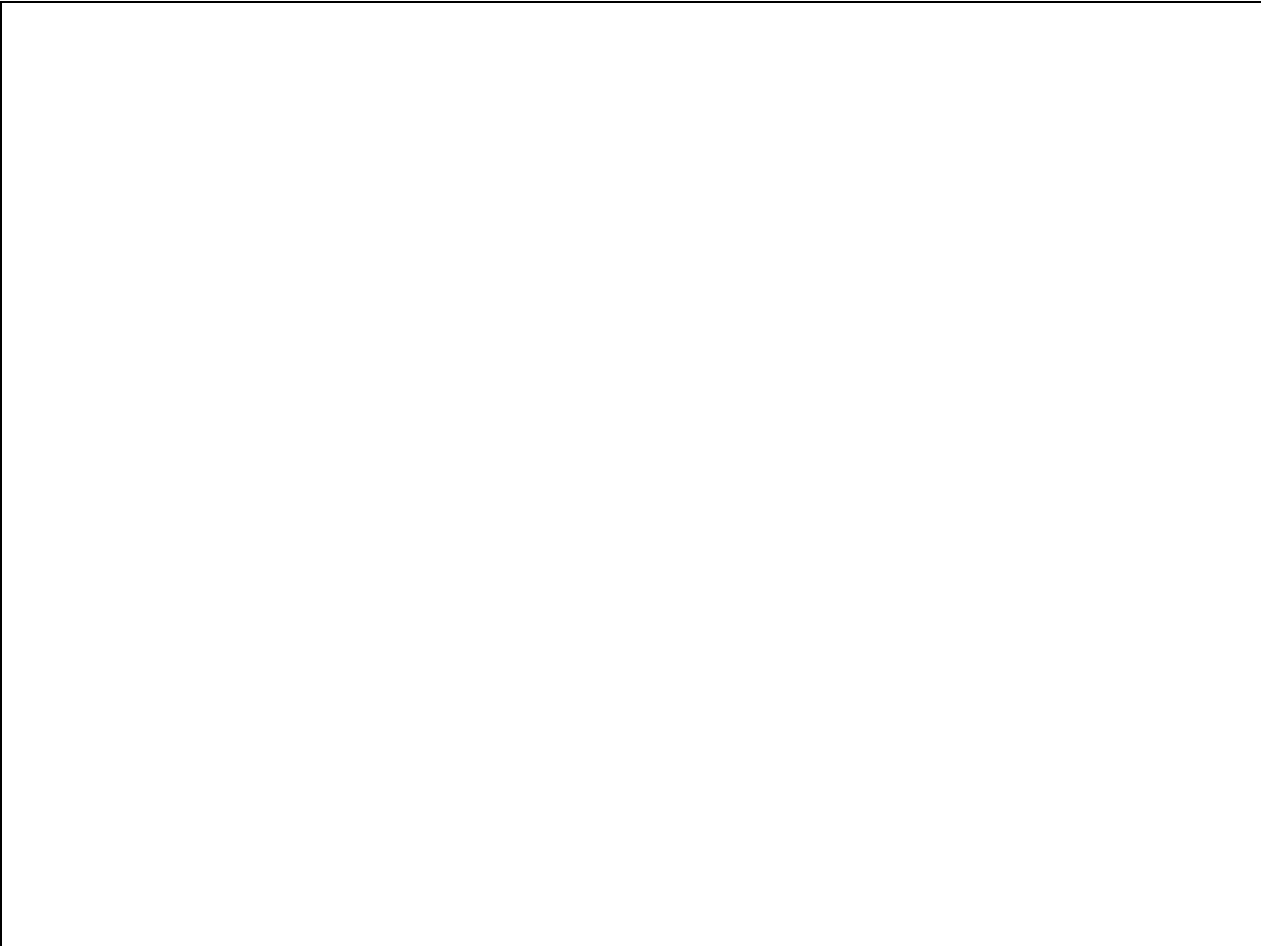
- (一) <sup>1</sup> この感覚こそ、学ぶことの根柢こんぎに触れてふいる証あかしであり、あらゆる未来の「種」を生み出す起点にほかならない とありませんが、それはなぜですか。「この感覚」を説明し、本文中の語を使って答えなさい。
- (二) A に入る第二段落の見出しとして最も適切なものを次から選び、記号で答えなさい。
- ア 人間が行っている世界のつくり替え
- イ 人間は自由だからこそ学ぶ
- ウ 自然を学んだ人間が作りだしたものの
- エ 現代を生きる我々の宿命
- (三) ( ① )には全て同じ語が入ります。本文中から漢字二字でぬき出し、答えなさい。
- (四) ( 1 ) ( 3 ) に入る適切な語をそれぞれ次から選び、記号で答えなさい。
- ア しかし    イ 例えば    ウ そのため
- エ そうした

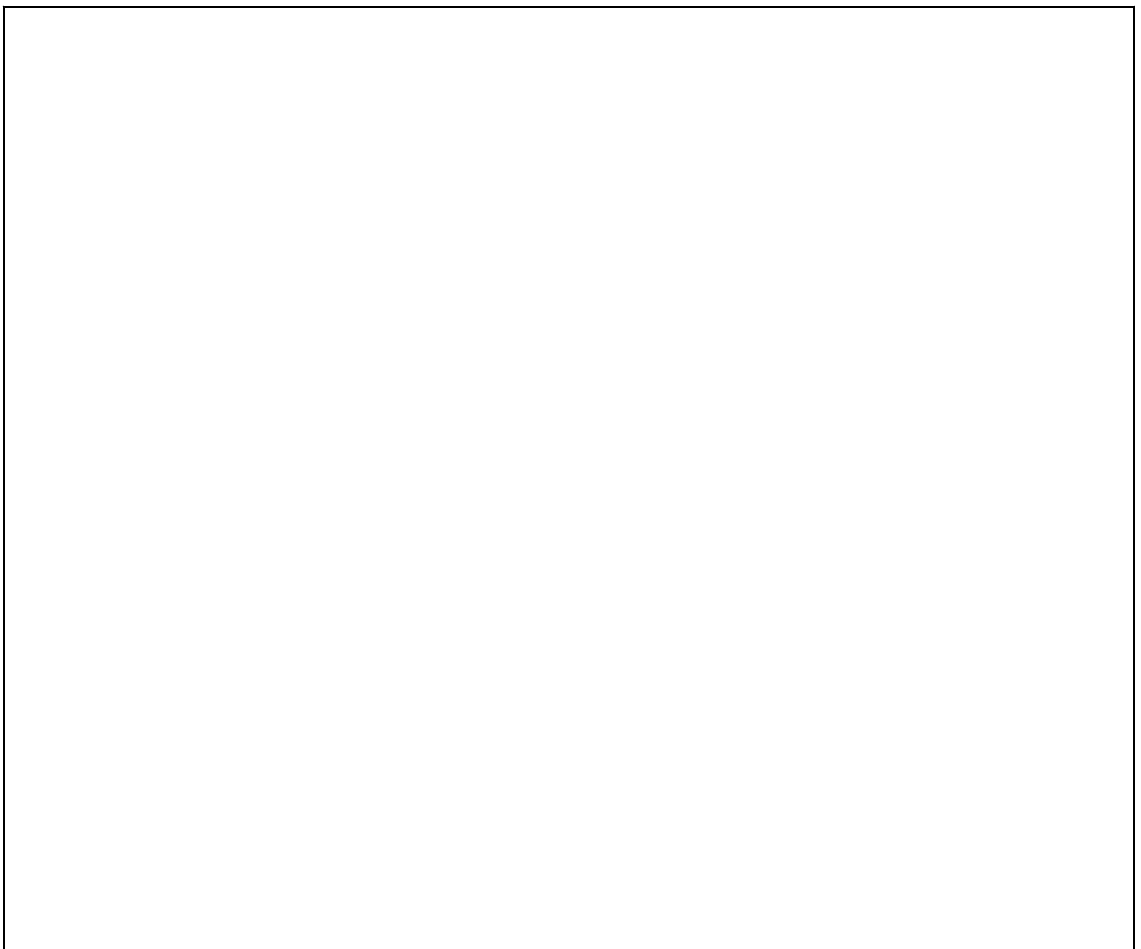
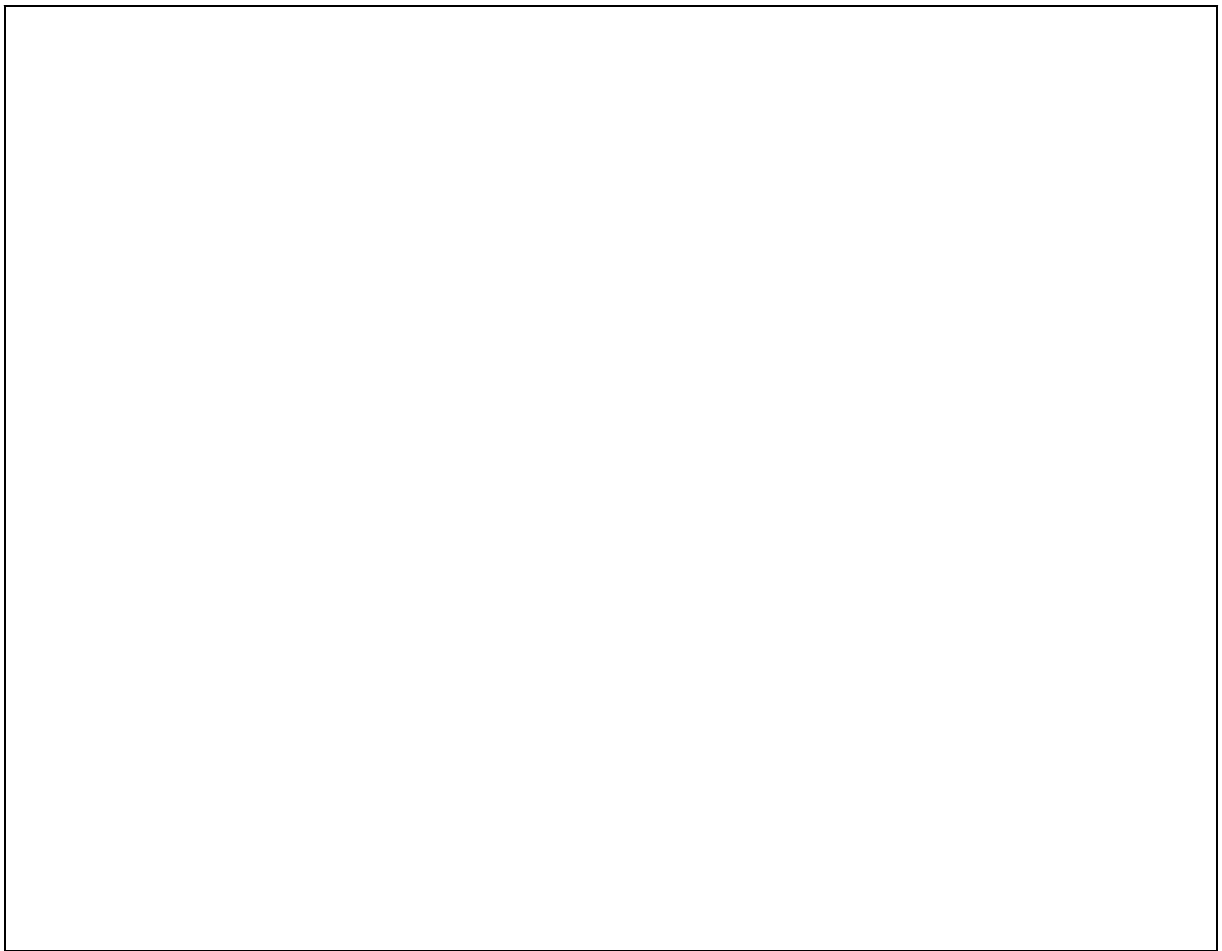
- (五) 次の一文は、本文中の ( I ) ( IV ) のどこに入れるのが適切ですか。記号で答えなさい。
- 若い力とは「知らない」力であり、「知っている」ということよりも「知らない」ということのほうが重要なのである。
- (六) <sup>2</sup> 自然を学んだ人間がつくり出したもの とありますが、具体的な例としてあげられている部分を本文中から十字以内でぬき出し、答えなさい。
- (七) <sup>3</sup> 知識量で勝る者が強者かという点、現実はどうなっていない とありますが、ではどのような者が強者なのか。十字程度で答えなさい。
- (八) <sup>4</sup> あなたたちの年になにかの「種」が宿されるということとありますが、なぜ、「種」という表現をしているのですか。次から最も適切なものを選び、記号で答えなさい。
- ア 心の中にずっと残って、成長しても消えないものだから。
- イ 大人になってからではなく、十代の時に必ず芽生えるものだから。
- ウ 成長していくとともに思いだし、それについて考えるから。
- エ すぐに育つものではなく、経験とともに育っていくものだから。
- (九) ( ② ) に入る語を本文中から十字以内でぬき出し、答えなさい。

二 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

落合由佳(おちあい・ゆか) 「兄弟前夜」の一節







(一) うそだった とありますが、光介はなぜうそをついたので

すか。その理由を十字程度で答えなさい。

(二) 意外な使い道ができた とありますが、なぜ「意外」なの  
ですか、答えなさい。

(三) 1に入る適切な語を次から選び、記号で答えなさい。

ア わくわく      イ ぞくぞく      ウ うきうき

エ はらはら

(四) 3 ベランダから見える暗い林が、風でざわざわと揺れていた  
とありますが、主人公のどのような気持ちを表しているので

すか。漢字二字で答えなさい。

(五) 4 すっとんきような声 とありますが、どのような声ですか。  
最も適切なものを次から選び、記号で答えなさい。

ア あまりのことに驚きあきれた声

イ 喜びを隠せずに思わず出ってしまった声

ウ ひどく調子外れでまぬけな声

エ 怒りのあまり出ってしまった大声

(六) 5 身体から力が抜けて、ぐにやりと手すりにもたれかかった  
とありますが、なぜこのようになったのですか。三十字以上  
三十五字以内で答えなさい。

(七) 6 お互いを助け合っている とありますが、歩夢はどのよう  
なことをして光介を助けようとしたのですか。五十字以内で  
答えなさい。

(八) この文章の題名は「兄弟前夜」です。作者は、なぜ「前夜」  
という言葉を使ったのか、あなたの考えを三十字以内で答え  
なさい。